

令和 7 年度始業式 講話

少しずつ桜も咲き始め、わくわくする「喜びの春」がやってきました。令和 7 年度が今日からスタートします。春休みは皆さん、1 年の反省も踏まえながら令和 7 年度をどう過ごすが、どんな自分でありたいか、向き合える時間になったでしょうか。「美しくあること、美しさを求める姿」について終業式ではお話をさせていただきました。今年度も皆さんのさまざまな活躍や、礼節をわきまえた皆さんの姿に触れられることを先生たちも楽しみに過ごしたいと思っています

さて、私ですが、年度末、ドタバタ過ごしていた時に、娘が読んでいた本に興味をそそられ自分も買って読んでみた本があります。「毎日読みたい 365 日の広告コピー」という、パラパラめくるだけで楽しくなる、1 ページに 1 つの広告コピーが書かれたものです。365 個の、1 行の広告コピーなんです、なるほど！と感心してしまうものばかりです。その中で、特に、なるほど！と感じたものがありました

「残り物は嫌い 最後の1つは好き」

同じものでも捉え方次第で印象が全く違ってくる。心の使い方を変えると、世の中の見方や見え方も変わってくること、あらためて気づくことができました。卒業していった先輩の皆さんに、こんな話をしたことがありました。【目の前で問題が起きた時、あなたならまず何をするでしょうか。という問いがありました。問題を解決するときに最初にすべきことは、どこが問題点なのかを見極めることです。実はこれが意外と難しく、問題の本質を見誤ったために間違った解決策を実行してしまう という例は世の中にたくさんあります。問題点を見極めるのが大事なことがよくわかる有名なエピソードがあります。ある古いオフィスビルで、テナントに入っている企業やビルの利用者から「エレベーターが遅くて困る」という苦情が何件も寄せられました。さてこの問題をどうやって解決したら良いでしょうか。皆さんならどんな解決方法を提案しますか？まず思いつくのは、最新の制御システムに取り換えるとか、エレベーターの台数を増やす といった解決策でしょう。このビルのオーナーも、専門家に調べてもらって、同じような解決策を提案されました。しかし、いずれも費用が莫大にかかりすぎて、このビルの収入ではダメでした。その間もクレームは無くならず、困りはてたオーナーは部下にアイデアを出させます。そしてそのアイデアを採用したところ、最小限の予算で苦情は 1 件もなくなった ということです】皆さんはそのアイデアがわかりますか。若い部下が出したアイデアは、「エレベーターの待合ロビーに鏡を付ける」ということでした。つまり、苦情をいう人の立場からすると、待ち時間が長い ということが問題点で、その長い待ち時間を有効に使えるものがあれば問題が解決する ということだったのです】問題にぶつかった時に、いわゆる正解を求めすぎて、多角的に客観的に、事の本質に向き合えない場合はよくあります。しかし今の話のように、捉え方や心の使い方をちょっと変えてみることで、解決に結びつくこともよくあります。皆さんには、壁にぶつかったときの回避方法として、「心の使い方をかえてみ

る」ことも時に必要 ということを、今日はお話させていただきました。

今年も皆さんが成長できる、さまざまなチャンスが、あちこちに潜んでいます。見過ごして通り過ぎてしまうものや、自分で取りにいかねば手に入らないものもあります。日々何気なく過ごす時間にも無駄なものは無いはずです。アンテナを高くして、そのチャンスを逃さないように、過ごしたいですね。まずは健康に安全に日々過ごせることが重要ですので体調を整えて元気に学校生活を送ってください。今年も皆さんの活躍を楽しみにしています。